

第64回愛知県消防操法大会 第2分団出場

目標は優勝!



知立市消防団は、毎年開催される県消防操法大会で優勝1回、準優勝2回、幾多の入賞を受賞し輝かしい成績を収めてきました。今回、市を代表し出場する第2分団の選手は、県大会優勝を目指し、連夜八ツ田小学校校庭を中心に、訓練に励んでいます。

また、他の消防団員も、訓練時のホース巻きを手伝うなど、知立市消防団が一丸となりバックアップしています。市民の安心・安全を守る消防団員へのご支援をよろしく願います。

○愛知県消防操法大会
▼とき 7月20日(土) (予備日7月21日)
▼ところ 竹島ふ頭 (蒲郡市港町)
▼問合せ 安心安全課 防災係 (☎95) 0160)

応援よろしくをお願いします!

「消防操法大会へのお願い」



消防団長
手島裕二

市民の皆さん、また消防団員のご家族および消防団員を従業員にもつ事業主の皆さんには、日頃より消防団活動にご理解・ご協力いただきありがとうございます。さて、7月20日に開催される第64回愛知県消防操法大会ポンプ車

の部において、市を代表し第2分団が出場します。八ツ田小学校を中心に大会前日まで訓練を実施しています。近隣住民の皆さんには、ご迷惑をおかけしていますが、ご理解のほどよろしくお願い致します。訓練の見学は自由にできますので、ポンプ車による放水、選手の雄姿をぜひご覧ください。

「大会出場に向けての抱負」



第2分団長
堤端太一

私たち第2分団は、知立市代表として、第64回愛知県消防操法大会ポンプ車の部に出場します。日々訓練に励むなかで、大切にしていることが2つあります。1つ目は、消防技術の向上です。知立市消防団は、市内で建物火災が発

生すると出動しますが、最近では耐火構造の建物や防火への取組みが進んでおり、火災出動は以前と比べて減っています。しかし、災害はいつ発生するかわかりません。そのため、操法の訓練を通じて、分団員の消防技術の向上を図っています。2つ目は、仲間との団結力です。第2分団員の年齢は20歳から36歳と幅広く所属しています。世代を超えた団員が一致団結して、操法大会に臨みたいと考えております。大会当日は、支えてくださった皆様への感謝の気持ちを胸に、訓練の成果を十分に発揮したいと思います。皆様の応援のほど、よろしくお願い申し上げます。



第2分団員紹介



2番員 石原任悟



1番員 近藤初彦



指揮者 小木勇人



4番員 竹内友之



3番員 尾崎優貴



補欠 岩根拓海



補助員 奥村喜臣

私たちが出場するポンプ車操法の部には県内から25チームが出場し、消防技術を競います。大会当日は、厳しい暑さの中での操法が予想されますが、訓練を通じて培った消防技術、そして第2分団のチームワークを披露し市民の皆様に優勝の報告ができるよう頑張ります。

消防団は、地域の安心・安全を守ることが使命だと考えています。市民の皆さんの期待に応えられるよう、精一杯訓練に精進しますのでご支援のほどお願いします。



補欠 松脇 徹

消防操法訓練の見所

1. まっすぐに伸びるホース

操法大会で使用されるホースは、1巻きの重さが7kg、長さ20m。そのホースを3本つないだ「1線」を用いて放水をします。ホースがねじれていたりすると水圧が低下し、消火に十分な放水ができないため、正確かつ素早くホースを延長する必要があります。

2. 正確な放水

放水時にホースの先端にかかる力は家庭用ホースの使用時と比べて100倍以上となります。そのため放水による反動力が非常に強いものの、その力に負けることなく10m先の火点をどれだけ素早く倒す事ができるかがポイントです。

3. 規律

実際の火災現場では、素早く、正確かつ機敏な行動や作業の確認作業は不可欠です。消防操法では、規律ある行動と正確な動作を行っているかが審査の重要なポイントになります。

